

三谷地区買い物支援モデル事業 出発式



10/22（金）晴天の下、三谷地区地域福祉ネットワーク会議の方々、三谷地区コミュニティ協議会の方々、高松市社会福祉協議会の方々、地元市議会議員、当法人理事長等、関係者、スタッフ合わせ18名が出席し、出発式が執り行われました。

三谷地区の高齢者のお買い物を地域で支援するモデル事業に社会福祉法人ポム・ド・パンも車両と運転手を提供してサポートを行っています。（詳細は最後のページへ）

ポム・ド・パンの理念

障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。

障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。

障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。

障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

改修工事



平成16年12月開所以来、17年が経過し、建物も外壁がリフレッシュ工事の適期を迎えましたので、2021年10月1日より4か月にわたり、管理居住棟・交流棟の屋根、外壁等の大規模改修（水洗い、養生、塗装、防水）工事を実施致しました。

大切な施設建物を、長くきれいな状態で使用していただくための工事です。各ユニットの玄関注、中央廊下外壁、管理棟外壁にも色をつけ明るい感じになりました。洗濯物干し場も天井吊り下げ金具を取り付け、物干し台がなくなった事でスペースが広く使えるようになりました。外壁・屋上を水洗いし、屋上には防水シートを張り直し、窓ガラスも気密性や防水性向上を目的として、コーキング処理致しました。

目に見えて改修したことがわかる場所は少ないですが、建物の構造上の重要な個所をリフレッシュすることによって、更に長く安心して使用できるようになりました。



●各ユニット玄関

柱を塗装し、玄関が明るくなったような気がします。

トピックス① 元日の朝食



今日は元日 お正月気分の朝食。

トピックス② かびとむしの幼虫



夏には元気な成虫に羽化するよう育てています。

トピックス③ 土砂崩れ防止策



土砂が側溝に流れ落ちるのを防ぐため、枕木を設置。

トピックス④ 椅子の修理



長年使用してきた中で、利用者の拘りで少しずつ破損が目立ってきましたので、座面の張替えを致しました。いろんな布地にさまがわりして、リビングの雰囲気が変わりました。





大規模



●ゾウの広場手すり

利用者が靴を履き替える際に、支えとなるよう2か所に手すりを設置しました。

トピックス① 作品



伐採した木材を加工して作ってます。欲しい方はご用命賜ります。



●管理棟外壁、中央廊下

水洗いをし、塗装致しました。



●交流棟屋根

落ち着いた感じの赤色に塗りなおしました。



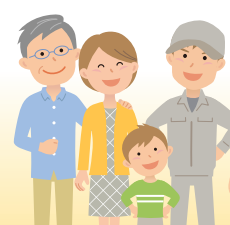
トピックス② くらら



寒空の中、少し天気が良くお散歩。

●物干し天吊り

各ユニット全ての洗濯干し場に取り付けました。物干し台がなくなり、スペースが広くなった気がします。



アートリンク

高松市では、2010年、2013年の瀬戸内国際芸術祭に併せて開催した「高松アートリンクプロジェクト」を発展させ、平成

26年度からは、障害福祉サービス事業所等へアーティストを派遣し、芸術活動を通じ、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが長期継続的に関わることで生まれる新しい概念をかたちにすることにより、障がい者の感性・創造性を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、「高松市障がい者アートリンク事業」を実施しています。

8年目を迎えた本年度は、ウインドヒルを含む15か所の施設へ10組のアーティストが定期的に訪れ活動を展開しました。新型コロナウイルスの影響で、アーティスト不在の期間等、活動の制限の中イベントに向けて準備を進めていきました。アメリカの自閉症の方が描いた「ペリカン」の絵に、利用者が自分の思いを表現し、コラボレーションした素敵な作品に仕上がりました。

また日本の伝統文化の一つである獅子をオリジナルで作り、展覧会にて披露する等国際交流の一環となる活動でした。

主任生活支援員 和田



高松市 セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携60周年記念
高松市アートリンク&セント・ピーターズバーグ市 クリエイティブクレイ共同制作

クリエイティブクレイと高松アートリンクのアーティストたちは、「祭り」をつくろうと、獅子舞を3体製作しました。この獅子頭はウインドヒルのメンバーが考案し、アーティスト千葉尚実さんと創りました。胴体部分は、関わる施設のメンバー達が作り縫い合わせました。今後は、ダンスや音楽をつくっていき、2022年3月に高松市河原町フラッグで披露します。

クリスマス会

(2021年12月28日)



クリスマス会では四つの手遊びを発表することが出来ました。余暇時間中やクラブ活動などで季節ごとに覚えた手遊びを曲に合わせて楽しくできました。

最後の「パブリカ」では鳴子を使いながら、各パート毎にテンポよく鳴らすことが出来、練習の成果を全員で発表しました。

生活支援員 道倉



参加した利用者の皆さんは、各イベントで楽しそうに体を大きく動かしていました。

サンタクロースが配り始めたケーキを見る目は爛爛と輝き、食べ始めると口の周りにクリームをつけながら、美味しそうに食べていました。お茶、ジュースはきちんとコップに注いで飲み、行儀よく出来ました。

コロナ過での行われたクリスマス会でしたが、楽しい一日になってよかったです。

生活支援員 清田



昨年はコロナ過であり、開催出来ずでしたが、今年は短時間での実施でき、参加者全員笑顔がこぼれる場面もあり、楽しいクリスマス会が出来ました。

レクリエーションの内容を発表したり、全員で踊ったりと一体感のある様子が印象的でした。ベルを鳴らして「キラキラ星」を演奏する発表では、リズムよくできていました。年末最後のイベントとあり、ケーキを食べたり、プレゼントをもらったりと、充実した時間を過ごせました。

生活支援員 香西 佐

初詣

(2022年1月5日～7日)

3グループに分けて地元の三谷八幡宮へ初詣に行きました。

Aグループ

1月5日



利用者26名で初詣に出かけました。代表者9名が神殿に入り、1人1人名前を呼んでもらい御祈祷してもらいました。コロナ過で外出も減り、楽しみの少ない時ですが、徐々に利用者さんの多くの笑顔を見ることが出来ました。

生活支援員 安倍

Bグループ

1月6日



利用者11名で初詣に出かけ、宮司さんのお祓いを頭を下げて、お行儀よく受ける事が出来ました。

二礼、二拍手、一礼も年々上手になり、成長を感じました。

主任生活支援員 村川

Cグループ

1月7日



13名で、ウォーキングもかねて楽しく初詣に行きました。ウインドヒルから、三郎池を見ながら、三谷八幡宮まで、職員間で声を掛け合ながら、道を譲り合いながら利用者の安全第一を配慮し、歩きました。1月ではありますが、晴天にも恵まれ、爽やかな汗を額に浮かべ、とても気持ちの良いものでした。

お参りでは「二礼、二拍手、一礼」にも声をかけ、手を添え全員で揃って出来ました。

神殿に入る際も、靴をそろえたり、周りの動きに合わせて頭を下げる事が出来、神主さんの話にも耳を傾けて聞いていました。最後に絵馬に願い事を書き、掛ける時も楽しい時間を過ごすことが出来ました。

主任生活支援員 松田

こころの医療センター五色台



令和3年10月より協力医として「こころの医療センター五色台」にお願いすることになりました。

問診時には、優しく丁寧に一人一人と関わってお話して下さり、最初は緊張気味だった利用者さん達も、今ではリラックスして医師の前に座れるようになってきました。

また、全員が座って支援員の話の聞いたり、活動している姿を見て「素晴らしい」とお褒めの言葉を頂きました。

生活支援員 加藤

監査

2021年12月10日に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(平成17年法律第123号)及び社会福祉法(昭和26年法律第45号)の規定に基づき「令和3年度障害福祉施設及び社会福祉法人の指導監査」が実施されました。

事前に提出しました、「指導監査調査及び自主点検票」を基に、当施設の運営に関する内容を精査して頂きました。当日は高松市役所より8名来所され、法人と施設の両方の監査がありました。

事前の提出書類作成、その基となる様々な書類の準備等大変でしたが、文章指摘もなく無事終了しました。

これからも利用者の為に、安心・安全な運営をしてみたいです。

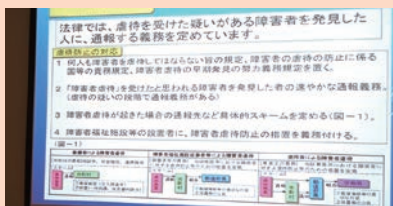
トピックス① お出迎え



施設のどこかに僕たちはいるよ。探してみてください。

職員研修

虐待防止研修



2022年4月に「虐待防止委員会設置が義務化」されます。それに伴い、2021年11月15日「香川県障害福祉相談所 香川県障害者権利擁護センター 佐々木直樹氏」を講師に迎え「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」の改正について学びました。

参加者をグループ分けし、ロールプレイを実施し、事例を通して職員間で着眼点と情報共有をすることにより、気づきや具体的な支援方法の見直し改善等、検討する項目があり、良い支援に向けて意識を高めることが出来ました。

今後は、虐待の予兆や発生に対する気付きを高めます。日々現場内で情報共有と着眼点を持ち、利用者の変化に十分配慮しながら、虐待防止に努めていきたいと思えます。

口腔ケア



2021年12月13日 開所以来、利用者の口腔内の検診にご協力頂いている「しん治歯科」の歯科衛生士、「壽賀 彩氏」を講師に迎え、口腔機能について学び、知り得た情報を基に支援に生かし、利用者の口腔状態を維持・向上を図る目的でお話をさせていただきました。

加齢による衰えが進むと食事が面倒になり、外出と人と会うことも減っていく傾向にあり、生活全体に影響を与えることがわかりました。今からできることを始め、活動的な毎日を送れるよう利用者と共に口腔機能の維持・向上に努めたいと思えます。

令和3年度 第9回 障害者支援施設全国大会北海道大会

大会テーマ

「権利擁護の視点から支援の質を考える」

～コロナ過において重度高齢化が進む 障害者支援施設に問われるものは～

- 「なぜ人と人は支えあうのか？」をテーマにノンフィクションライターの方が講演。
- 現場で実践されている支援内容を、代表して「北海道地区、中国地区」の施設担当者より発表。
- 「障害者の人権を守り、共生を実現するためには何が必要か？」をテーマにシンポジウム開催

シンポジウム出席者

北海道大学函館校准教授 古池順一郎氏

障害者支援施設部会四国地区代表 松原正子(ウインドヒル施設長)

障害者支援施設部会長 榎本博文氏(ひまわりの風施設長)

3人のシンポジストによる利用者の人権を守り、虐待を許さない入所施設の在り方、支援の質の向上について考えるのはもちろんの事、「多様な主体が共に生きるとは?」「人が人を支えるとは?」どういう事なのかを自身の経験を基にした報告や発表がありました。障害があっても一人の人として社会のルールに沿って生活できるように支援を行うことが、自分たちの役目であると強く感じる内容でした。まだコロナ過であり、参加者が集まらない中で、事前に収録した動画の配信での研修でしたが、非常に濃い内容で、勉強になりましたので、学んだことを今後の支援に役立てたいと思えます。



職員紹介(10年目職員)

主任作業支援員 松尾 能之

趣味

15年前まではゴルフ、それ以降は釣り（マイボートで近くの海で釣りをすること）です。

自分を動物に例えると

今現在飼っている犬と同じです。
(愛犬 そら)

利用者とのエピソード

ある利用者が、出来ないと思っていた箱折りに挑戦することになり、保護者の方も無理と言っていましたが、箱折りを助ける自助具を作成し、それを活用することで作業ができるようになったことができました。

フリートーク

歳のせいかわ物忘れが多くなりました。

トピックス⑧ 山茶花



赤い山茶花の花言葉は「謙譲」。



トピックス⑨ 水いし



和のイメージがありますが、元々はイベリア半島を中心としたイギリスや北アフリカなどが原産国なんです。

主任生活支援員 鎌田 泰明

趣味

料理（休日は自分が作っています。）

自分を動物に例えると

猫（家で飼うようになり似てきました。チョコチョコと歩いて気分屋です。）

利用者とのエピソード

余暇時等で利用者の方の中に座っていると、すぐに気づかれないことがあります。

フリートーク

2人の子供が現在、高校2年生と中学3年生になり、あまり相手にしてくれないので、猫を飼い始めましたが、今では餌の欲しい時にしか寄ってきません。

事務長 松原健太

趣味

インテリア

自分を動物に例えると

羊です。

利用者とのエピソード

現場を離れて数年たちますが、廊下ですれ違った利用者さんに名前を呼ばれたと



きは、覚えてくれてたと嬉しくなりました。

フリートーク

10年を振り返ると、自分の立ち位置や覚えてくるものは様々になりました。一進一退しながらですが、「自分の為すべきことを為す」を心に進んでいきます。

トピックス⑩空を公園にて



みんなで飛行機をお見送り。何処に行くんだろう。



職員紹介(新人職員)

生活支援員 村川芽呉美

趣味

いろんなところにドライブに行ったり、美味しいものを食べる事です。

自分を動物に例えると

飼っている犬と似ているので犬です。



利用者とのエピソード

11月から利用者に覚えてもらって、名前を呼んでもらった時は凄く嬉しかったです。また利用者と一緒に何かを達成できた時は、私の方が利用者より喜んでしまうことができました。

フリートーク

職員の皆さんと利用者と一緒に毎日をご一緒したいと思います。まだまだ未熟な私ですが、ご指導宜しくお願いします。

生活支援員 新藤沙也香

趣味

散歩、絵画

自分を動物に例えると

犬



利用者とのエピソード

小人数ではあるが、名前を覚えてもらえたこと。(名前を私を呼んでくれた)

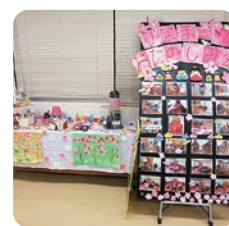
フリートーク

私には4人の子供がいます。(男の子)何年もかけて私をお母さんとしてのスキルをアップさせてくれました。今も継続中ですが……。今回この仕事を通して一人の人間として、スキルアップしたいと思っています。

三谷コミュニティ 買物支援モデル事業 ～三谷きずな号～

地域とのつながり

三谷地区文化作品展



移動手段を持たない高齢者らの買い物を支援するため三谷地区地域福祉ネットワークとポム・ド・パンが協力し買物支援モデル事業を始めました。この事業には高齢者誰もが気軽に外出し、生活に楽しみや生きがいを見出し、地域社会とつながることで、孤立せず安心して健康に暮らせる地域づくりと社会福祉法人の「地域における公益的な取組」につなげる目的がございます。

バスには民生委員が同乗し、利用者の買物をお手伝い致します。令和3年度は二つの地区を実施し、令和4年度以降にはエリアを広げていく予定がございます。

10/22(金)関係者が集まり、出発式を行い、出席者全員でバスを見送りました。当日は新聞取材もあり、10/23(土)の四国新聞地域面に掲載されました。

ドライバーとして接してみよう

利用者は話をしたり、買い物をしたりして笑顔になり楽しそうにしています。これからも地域貢献と安全運転に努めます

生活支援員 平山

2021年10月30日、31日 三谷コミュニティにて「三谷地区文化祭」に参加しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年度に引き続き今年も作品の展示のみでした。ウィンドヒルから、多数利用者が制作した作品、活動の様子等の写真を展示しました。

芸能発表は、中止になり披露できず残念でしたが、作品を通してこれからも地域の一員として地域とのつながりを大切にしていこうと思います。

来年は新型コロナウイルスが収束し、芸能発表も再開できることを願っています。

主任生活支援員 松田

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

●令和3年度個人会員 令和3年8月1日～令和4年1月31日

細井 千秋 西原 武夫 横田 忠

●令和3年度団体会員 令和3年8月1日～令和4年1月31日

卓球クラブ しろくま薬局 蘭らん ほそかわ

令和3年8月1日～令和4年1月31日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会頂きました。

令和4年2月1日以降にご入会の方々は、次回の会報にのお名前を掲載させていただきます。本当にありがとうございます。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いたします。

[年会費]個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

[ご入金方法]郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートホンでは、右のQRコードから読み取れます。アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

編集後記

コロナ過と言われるようになり約2年になろうとしています。今だに収束する気配が見えません。香川県も感染者数が過去最高とか、連日3桁の感染者の発表があります。基本的対策しているとはいえ、今私たちの生活はほぼ普通に帰っています。

自分が感染するのも嫌ですが、知らずに誰かに感染させてしまうことも考えなくてはなりません。今一度自分が出来ることをしっかりやり、マスク無しの生活ができるまで乗り切りましょう。



松ほっくりのポムです。



松ほっくりのパンです。